

oosaki みんなの図書館!
『ぶんかん』だより



ご進級、おめでとうございます!

『ぶんかん』だよりは、みんなにおすすめの本や
イベントを紹介していきます♪

図書館はいつもみんなが来てくれるのをまってるよ!



SDGs
コーナー

SDGsの本をみつめたコーナーです。

いろんな本を読んで、地球や
環境のために今、できることを考
えてみましょう。

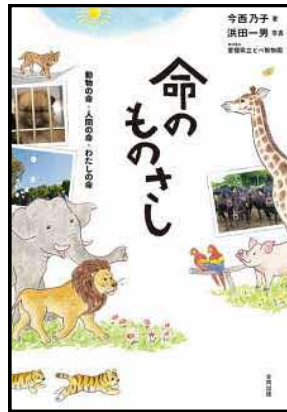
『わたしは女の子だから
世界を変える夢を
あきらめない子どもたち』



ローズマリー・マカーニー/文
西村書店



『命のものさし
動物の命・人間の命・わたしの命』



今西 乃子/著
浜田 一男/写真
愛媛県立とべ動物園
合同出版



『アレッポのキャットマン』



アイリーン・レイサム/著
あかね書房



分館の小学生向け雑誌です

2023年 春号
小学4～6年生版

品川区立大崎図書館分館

☎ 3491-3430
FAX 3491-3291

nicola(ニコラ)

子供の科学

Popteen(ポップティーン)

Myojo (ミョージョー)

*(~*V*c)*

月刊ニュースがわかる



雑誌



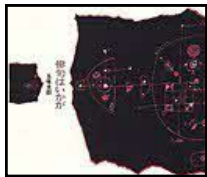
はるによみたい ほん



勉強する意味が分かる! こども学問のすすめ

齋藤孝/著
筑摩書房

福沢諭吉が100年以上も前に書いた『学問のすすめ』をイラスト入りのわかりやすい言葉で。そこには「学ぶって大切なことなんだ」「人はみな平等だよ」といった、今の私たちにも大切なメッセージがたくさんつまっています。「どうして?」「どうすればいいの?」と思ったことに、自分のことを考えるヒントがもらえるかもしれません。



俳句はいかが 五味太郎/作・絵 岩崎書店

俳句って知っていますか。17文字くらいで表す短い詩の世界です。その魅力的な世界を絵本作家の五味太郎さんが紹介します。言葉の魅力、五七五の音の数、季語など、いろんな切り口で俳句をわかりやすく伝えています。俳句の世界で遊んでみませんか。



魔女の宅急便 その1 角野栄子/作 福音館書店

魔女のキキは13歳。クロネコのジジといっしょに家をはなれひとり立ちする時が来ました。ほうきに乗ったキキは海の近くの大きな町に降り立ちました。そしてパン屋のおソノさんから粉置場を借りたキキ。“魔女の宅急便”を始め、一人前の魔女になるために、全力で仕事に取り組みます。



アーマのうそ キャロル・ライリー・ブリンク/作 文溪堂

転校して間もないアーマには友だちがいません。そんなとき声をかけてくれたクラスメイトに、「世界一大きな人形を持っている」とうそを言ってしまいました。すぐ忘れてくれると思ったのにクラス中に広がって、学校のイベントに人形を展示することになってしまい……。



エヴィーのひみつと 消えた動物たち マット・ヘイグ/作 ほるぷ出版

エヴィーは動物が大好き、動物の声をきくことができる特別な力も持っていますが、それはひみつです。学校のウサギを逃がしてしまったことからエヴィーの特別な力のこと、環境問題に取り組んでいたお母さんのこと、力を悪用する男がエヴィーを狙っていることが次々と明らかになり……。



やかまし村の子どもたち アストリッド・リンドグレン/作 岩波書店

あたしはリーサ。やかまし村には家が三軒、子どもは男の子と女の子が3人ずつ、たった6人しかいません。家と家との間にある木を伝って部屋を行き来したり、ひもを使って窓から窓へひみつの手紙をやり取りしたり。干し草の山に飛び込んだり、秘密基地を作ったり。毎日楽しいこといっぱいです。



ドリトル先生航海記 100周年記念版 ヒュー・ロフティング/著 竹書房

くつ屋の息子トミー・スタビズは尊敬するドリトル先生の助手になり、海上をさまようクモザル島を目指して冒険の旅に出ることになりました。波乱万丈の航海の末、ようやくたどり着いた島でドリトル先生は大博物学者ロング・アローを救出し、部族の争いをしずめ、ついに島の王さまに選ばれてしまいました。